

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年2月15日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから2月15日の原子力規制庁、定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、あしたの原子力規制委員会ですけれども、議題は6つあります。

1件目が、第3四半期の検査の結果ということで、定例の検査結果の四半期報告になります。検査指摘事項に相当する事項が11件あったことなどが報告されます。

議題2つ目と3つ目が、ALPS処理水関係で、審査状況報告が議題の2で、海域モニタリングの強化が議題の3です。

審査状況のほうは、12月に申請がありまして、その後の審査状況を報告するというものになります。

議題3のほうは、海域モニタリングの具体的な方針を報告するもので、環境省の専門家会議が取りまとめた助言に沿って、トリチウムの測定点を増やすといったことの方針が説明されるようです。

議題の4つ目は、ウラン加工施設における検査指摘事項のスクリーニング手順の検討結果です。

これは、検査指摘事項の重要度評価のスクリーニング、実用炉でいうところの赤・黄色・白・緑と言っているものですが、そのウラン加工施設版、この検討を進めてきたところですが、今回、事業者との間で合意が得られた具体的なスクリーニング手順を報告するものになります。了承されれば、今後、検査ガイドが改定ということになってきます。

議題の5つ目が、炉安審・燃安審の審議結果の報告ということで、これも定例でやっているものですが、昨年10月の火山部会と、今年1月の基本部会の審議の状況を報告します。

議題の6つ目は、技術情報検討会の結果概要ということで、1月20日の技術情報検討会の状況を報告することになります。

(2) ですけども、あしたの夕方には臨時会議もあります。

議題は2つありまして、1つが、第3四半期の検査結果の報告の核物質防護のほうとい

うことでございます。

2つ目が、柏崎刈羽の追加検査の状況ということになります。

その下、(3)ですけれども、金曜日にも臨時会議があります。これも非公開です。

議題は、廃棄物合同条約の国別報告書への質問の回答ということで、国別報告書、3年に一回提出していますけれども、昨年10月に提出しまして、各国から質問を受ける手続がありますので、質問が来たので、それへの回答を審議するというものになります。

次が、3ページ目まで飛びまして、2月18日の(6)標準応答スペクトルの規制の取り入れに関する申請要否の会合ということです。

議題は2つで、柏崎刈羽とJRR-3であります。いずれも前回のコメント回答ということになりまして、今回をもって結論が出る可能性もあります。

次が、3ポツ、その他のところのALPS処理水についてのIAEA規制レビューの準備会合ということで、今週IAEAの調査団が来日したとニュースがあつて、それは経産省と東電のほうに行くほうの話ですけれども、そのメンバーの一部が来週も残りまして、今後行われる規制レビューについて、規制委員会との準備会合を持つということになっています。こちらからは以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

ヨシノさん、お願いします。

○記者 テレビ朝日のヨシノです。

柏崎刈羽の核セキュリティの事案からもう1年が経とうとしているのですけれども、密室の臨時会合ばかりやっていて、公開会合で、要するに、ある程度オープンにするような話があったのですが、まだ一回もそういうことが行われていないと思うのですが、これは日程か何かはたっているのでしょうか。

○黒川総務課長 まだ決まった日程はありませんけれども、当初の予定として、去年の秋ですか、公開のほうの会議でかけたときに、事実関係の確認の検査というのが、3月辺りまで線が伸びていたと思いますけれども、一応そこが一区切りで、その後、公開のほうで説明するということになるのではないかと思います。

○記者 そうすると、3月中か4月中には公開会合をやるということによろしいですか。

○黒川総務課長 日程がいつというのは、まだ決まっていないので何とも申し上げにくいですが、そう遅くないうちにはやると思います。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

では、マチヤマさん、お願いします。

○記者 IAEAの2月21日、22日のレビューの準備会合、これは主にどういうものになるので

しょうか。

○黒川総務課長 準備会合なので、単純なロジみたいな話から、具体的にどんなところを見ますかみたいな話。

本体のレビューミッションが、まだ日程が決まっていないですけども、その後来ると思いますので、それに向けた準備という感じになります。

○司会 ほかにはございますでしょうか。

では、ハセガワさん、お願いします。

○記者 NHKのハセガワです。

あしたの議題3についてなのですが、これは環境省でのタスクフォースとか、総合モニタリング計画、調整会議ですかね。これとの関係性というか、これはどういうことになるのですか。

○黒川総務課長 取りあえず、今回の中身自体は、環境省の専門家会議で、こういうところを拡充すべきというのが助言が出ましたので、それに沿ってということになります。その後、最終的なモニタリング計画とか、正式な決定版の計画みたいなものに反映されるということになると思います。

○記者 規制委員会としての意見が求められるということなのですか。

○黒川総務課長 意見ということよりは、規制委員会が自前でやる調査ポイントを増やしますという話です。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—